

◆シンポジウム「自然学校宣言2011」◆

日 時

2011年3月2日(水)14時~20時半

(シンポジウムは19時まで、19時以降は情報交換会)

場 所

立教大学池袋キャンパス 太刀川記念館3階多目的ホール

開催趣旨

昨年度のシンポジウム「自然学校が地域を救う」の成果を踏まえて、今回は、2002年度から4年ごとに実施されている自然学校の全国調査をもとに、自然学校が今日果たしている役割を明確にするとともに、行政、企業、NGO といった自然学校にかかわるステークホルダーによる取り組みの共有化を行い、持続可能な社会構築に果たす自然学校の展望と可能性について議論をいたします。

プログラム

- ★第1部：全国調査報告
- ★第2部：中央省庁が見る自然学校
- ★第3部：企業が取り組む自然学校
- ★第4部：自然学校類型化の試み
- ★第5部：自然学校これからの可能性
- ★情報交換会

主 催：立教大学ESD研究センター

共 催：公益社団法人日本環境教育フォーラム
NPO法人日本エコツーリズムセンター
NPO法人自然体験活動推進協議会

調査協力：櫛日能研

お申込み方法：シンポジウムへの参加は、事前のお申込みが必要です。ESD研究センターのホームページ(<http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/ESD/index2.html>)に設置された申込みフォームよりご登録ください。また、電話やFAX(03-3985-2686)、Eメール(esdrc@grp.rikkyo.ne.jp)などでお申し込みの場合は、「1. 氏名、2. 所属、3. 連絡先」をお知らせください。

お問い合わせ先：

立教大学ESD研究センター

住所：171-8501東京都豊島区西池袋3-34-1 電話&Fax：03-3985-2686

E-mail：esdrc@grp.rikkyo.ne.jp

URL：<http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/ESD/index2.html>

プログラム詳細

【第1部：全国調査報告】(14:00～14:30)

◇担当：広瀬敏通（日本エコツーリズムセンター代表理事）

開会挨拶：阿部治（ESD研究センター長）

プログラム紹介：川嶋直（キープ協会顧問、日本環境教育フォーラム理事）

自然学校全国調査報告：広瀬敏通

【第2部：中央省庁が見る自然学校】(14:30～15:25)

◇担当：佐藤初雄（自然体験活動推進協議会代表理事）

各省庁による自然学校に関係する取り組み

- ・小野 保（文部科学省スポーツ・青少年局青少年課青少年体設活動推進専門官）
- ・堀上 勝（環境省総務課自然ふれあい推進室長）
- ・福島行我（林野庁森林整備部計画課森林総合利用山村振興室企画係長）
- ・福住知宏（経済産業省経産政策局・地域経済産業グループ立地環境整備課開発1係長）
- ・古市秀徳（国土交通省河川局河川環境課課長補佐）
- ・遠藤知庸（農林水産省農村振興局農村政策部都市農村交流課課長補佐、都市農業第一班担当）

フリップボードディスカッション

【第3部：企業が取り組む自然学校】(15:35～16:25)

◇担当：中西紹一（プラスサーキュレーションジャパン代表）

自然学校紹介

- ・湯浅 隆（東京電力自然学校）
- ・山田俊行（トヨタ白川郷自然学校）
- ・藤木勇光（J-POWERエコ×エネプロジェクト）
- ・落合 真（ろうきんの森）

フリップボードディスカッション

【第4部：自然学校類型化の試み】(16:30～17:25)

◇担当：広瀬敏通

類型紹介

類型に沿った自然学校紹介

- ・坂元英俊（阿蘇地域コンソーシアム／コンソーシアム型）
- ・大武圭介（ホールアース自然学校／社会企業型）
- ・飯田 洋（千葉自然学校／ネットワーク型地域再生）
- ・大前純一（エコプラス／農的暮らし型）

フリップボードディスカッション

【第5部：自然学校これからの可能性】(17:40～18:30)

◇担当：川嶋直

パネルディスカッション

- ・阿部 治/佐藤初雄/広瀬敏通/西村仁志（同志社大学政策学部政策学科准教授）
/中西紹一

閉会挨拶：岡島成行（日本環境教育フォーラム理事長）

【情報交換会】(19:00～20:30)

シンポジウム会場ロビー（参加費：2000円（予定））